

国立大学法人富山大学入札監視委員会定例会議議事概要

開催日及び場所	平成26年 6月30日(月) 事務局1階入札室	
委員	委員長 山尾 佳史(公認会計士・税理士) 委員 浦崎 威(弁護士) 委員 竹林 正宏((一財)富山県建築住宅センター専務理事)	
審議対象期間	平成25年10月 1日 ~ 平成26年 3月31日	
抽出案件(合計)	3 件	(備考)
工 事(小計)	2 件	今回の審議対象期間においては、 再苦情の申立て及び同審議依頼は なし。
一般競争入札 (政府調達に関する 協定対象工事)	1 件	
一般競争入札 (上記工事を除く)	1 件	
工事希望型競争入札	0 件	
通常指名競争入札	0 件	
随意契約	0 件	
設計・コンサルティング業 務(小計)	1 件	
公募型プロポーザル 方式	0 件	
簡易公募型プロポー ザル方式	0 件	
簡易公募型プロポー ザル方式(拡大)	1 件	
標準型プロポーザル 方式	0 件	
一般競争入札	0 件	
随意契約	0 件	
委員からの意見・質問、それ に対する回答等	意見・質問	回 答
	別紙のとおり	別紙のとおり
委員会による意見の具申又 は勧告の内容	なし	

※ 委員からの意見・質問、それに対する回答等はできるだけ詳細に記入すること。

別 紙

質 問	回 答
<p>1. 国立大学法人富山大学において発注した 建設工事について (施設企画部より説明)</p> <p>・特になし。</p>	
<p>2. 国立大学法人富山大学において発注した 設計・コンサルティング業務について (施設企画部より説明)</p> <p>・特になし。</p>	
<p>3. 指名停止等の措置状況について (施設企画部より説明)</p> <p>・特になし。</p>	
<p>4. 審議対象工事及び設計・コンサルティング 業務の抽出結果について (山尾委員長より説明)</p> <p>・特になし。</p>	

別 紙

質 問	回 答
<p><b>5. 建設工事及び設計・コンサルティング業務における抽出案件の審議</b></p> <p><b>(1) 一般競争入札方式</b></p> <p><b>【富山大学附属病院中診・外来棟改修その他工事】</b></p> <p>競争参加資格について、特に厳しい条件を付したということはないか。</p> <p>入札公告期間についてはどうか。</p> <p>競争参加資格の点数についてはどうか。</p> <p>最終の落札価格が初度入札価格の約 60%であるが。</p>	<p>本学を含む富山県内の入札状況は、平成 25 年 6 月頃から入札公告を実施しても競争参加申請がなく、入札が不調となるケースが多く見受けられた。このことから、本学が求める施工実績の対象を過去 10 年から 15 年に延長したり、施工実績においては、工事対象面積の約 70%から約 50%に緩和するなど競争参加資格においては、特に厳しい条件を付してはいないと思われる。</p> <p>20 日間の入札公告を行っている。</p> <p>これは、文部科学省からの通知に基づき、WTO 対象工事における入札手続きに要する標準日数内（20 日～30 日）である。</p> <p>文部科学省からの通知に基づき、WTO 対象工事（5.8 億円以上）の単体及び JV 代表者の点数を適用した。また、JV 構成員については、年度当初に本学の競争参加資格等審査委員会にて決定したものである。</p> <p>話し合いの中で、危険負担などの過剰な積算が見受けられることから、その分を取り除いた価格で落札した。</p>

別 紙

質 問	回 答
<p>(2) 一般競争入札方式</p> <p><b>【富山大学（杉谷）講義実習棟実習室空調機取設工事】</b></p> <p>低入札価格調査の結果を詳しく教示願いたい。</p> <p>会社から工事施工箇所までの距離は。</p> <p>調査による資材費、労務費等が具体的にいくら安価となったか。</p> <p>労務費はなぜ安価となったか。</p> <p>低入札価格調査を実施する際は、この価格で施工可能となる根拠を具体的に示させる必要があるのではないか。</p>	<p>各種資材を年間契約で一括購入しており、本工事に充当する分が安価で調達できること。また、近隣で別工事を施工中であり、各種器材・仮設資材の転用が可能であること。さらに、本工事施工箇所が至近距離にあるため、経費の大幅な節約が可能であること。</p> <p>約 13.5 k m である。</p> <p>当初見積金額から資材費については約 300 万円、労務費、共通仮設費及び諸経費を併せて約 200 万円安価となった。</p> <p>長年に渡る取引関係にある協力会社から労務者を確保することで安価となった。</p> <p>了解した。今後、検討する。</p>

別 紙

質 問	回 答
<p><b>(3) 簡易公募型プロポーザル方式 (拡大)</b> <b>【富山大学 (杉谷) 実習・講義棟改修設計業務 (建築)】</b></p> <p>参加表明書及び技術提案書の提出者数について。</p> <p>契約の相手方として (株) 長大北陸事務所と契約締結を行っているが、一級建築士事務所の登録を行っているのは東京支社であり、北陸事務所は登録を行っていないのではないか。そうであれば、北陸事務所には管理建築士がいないため、契約の相手方は管理建築士を置く東京支社の (株) 長大と契約締結を行う必要があるのではないかと。</p>	<p>参加表明書の提出者数は4者であるが、説明書にも示しているとおり、技術提案書の提出依頼は、原則、参加表明書の評価点数の上位3者であることから、技術提案書の提出依頼を3者に行い、技術提案書の提出があったのは3者である。</p> <p>委任状の提出により、(株) 長大北陸事務所と契約締結を行ったが、今後は管理建築士を置く本社又は支店等 (建築士事務所) を調査し契約締結を行うこととする。</p>